

原平鎮附近戰鬪詳報

步兵第三十聯隊第二大隊



21

0960 0959

原平鎮附近戰鬪詳報

歩兵第三十聯隊第三大隊



21

0960 0959

## 原平鎮附近戰闘詳報

步兵第三十聯隊第三大隊

### 一 戰闘前ニ於ケル彼我形勢ノ概要

1. 宿越口及鐵角嶺、戰闘後敵ヲ急進崞縣城外部落一部、敵ヲ擊破セシ大隊ハ十月三日夕主力ヲ以テ武彦村ヲ一部ヲ以テ其ノ南端ヲ占領シ原平鎮ノ敵情地形ヲ偵察中ナリ

2. 敵ハ數十日來ヨリ原平鎮城内外部落ニ兵力ヲ集結シ其ノ城壁ニ堅固ナル銳眼並ニ掩蓋陣地ヲ構築シ又敵ノ敗殘兵ハ多數集團シ原平鎮ニ集結中ナリ

### 二 戰闘ニ影響ヲ及セシ天候氣象及戰闘地、狀態

1. 天候氣象  
本戰闘間日々晴天ニシテ朝ハ東北、微風日中ハ西北無風、夜間著シク冷氣、增

シ降霜ヲ見ル前夜月明アルモ他ハ暗夜ナリ

## 2. 戰鬪地の状態

1. 戰鬪地ハ平地地帯ニシテ高粱繁茂ニアリ  
處々銃眼ヨリ掃射地帯トシテ苟リ取ラレ  
アル外部落周圍、樹木ト相俟手邇視殆ン  
ト困難ニシテ至近距離ニ近接スルニ非ラ

サレハ敵情、觀察困難ナリ

只部落周圍ノ樹木ノ爲砲彈過早破裂スル恐  
トアリ從ツテ砲火、威力ヲ發揮シ得サル  
事比較的多シ

ハ徒步兵ノ前進ハ概未困難ナラスト難モ重  
火器ノ行動比較的困難ニシテ特ニ高粱繁  
茂ナル爲射撃位置ノ確定ニハ相當ノ努力ヲ要シ敵前至近距離、敵掃射地帯ニ出  
タルニ兆ケレハ最良ノ陣地ヲ求メ難シ

二、敵陣地前ニ百米内ハ射界清掃セラレ依ル  
ヘキ地物ナク高梁ハ膝高下ニ折リ曲ケ障  
碍物トナシアリ前進意ノ如クナラス  
木炊事ハ後方部落内ニ於テ實施シ彈丸雨中  
間ヲ利用シ第一線ニ分配セサル可カラ  
サル情況ナリ

給水ニ就テモ示同シ

ヘ後方部落内ノ住民ハ全ク逃走シアリテ殆  
ント其ノ影ヲ見ヌ家屋壁ニバ抗日悔旨ノ

落書多シ

三、各時機ニ於ケル戰鬪經過及之ニ關連セル隣接  
團隊ノ動作

十月四日午前一時三十分左記聯隊命令ヲ受ク

高作甲第四ロ蹄

猪鹿倉部隊命令

於武彦村部隊本部  
十月四日午前一時三十五分

一敵ハ崞縣及寧武附近ヨリ太原方面ニ向ヒ退却  
中ナリ兵團ハ明拂曉原平鎮ヲ占領シ爾後ノ作  
戰ヲ準備ス

本田兵團ハ明拂曉宿營地出發先ツ原平鎮ニ向  
前進スル筈

二當部隊工兵及警衛隊ハ左縱隊前衛トナリ原平鎮ニ  
向ヒ前進セントス

右縱隊タル歩一六八年前五時用家庄ヲ出發新  
道ヲ原平鎮ニ向ヒ前進ス

三、II(ク)タ乞ハ午前五時三十分迄ニ武彦村南端ヲ  
先頭トシテ本道上ニ集合シ前兵トナリ前衛ノ

進路ヲ原平鎮ニ向ヒ前進スヘシ

四、漏餘ノ諸隊ハ前衛本隊トス

午前五時三十分迄ニ前兵ノ後尾ヲ先頭トシ左  
行軍序列ニ從ヒ途上ニ集合シ前兵ノ後方三

通本部行スヘン

部隊本部

通信班(前兵、後尾ヲ續行)

第五中隊

第一MG(火炎)

第一歩兵砲小隊

第七中隊

五前進、時機ハ午前五時四十分ト豫定スルモ期

命又

太守ハ前衛本隊、先頭ニ在リテ前進ス

午前五時三十分命令受領者ヲ差出スヘシ

人依テ大隊長ハ別紙命令附錄第一ヲ下達シ

午前四時第六中隊小山少尉、率エル一分隊

ノ將校候ヲシテ原平鎮ノ敵情地形ヲ偵察

セシム

又 大隊主力ハ前記聯隊命令ニ基キ原平鎮ニ向  
ヒ前進セントスル時武彦村南方約五ロロ米  
ノ地点臺上ニ一部ノ敵抵抗ミアルヲ以テ先  
ツ大隊長ハ第六中隊嘉村准尉ノ指揮スル一  
分隊ヲシテ該陣地ヲ攻撃シ前衛ノ前進ヲ掩  
護セシム

3. 大隊ハ武彦村ヲ隔タル約ニ料ノ地点ニ達ス  
ルノ原平鎮城外陳地ヨリ猛烈ナル射撃ヲ受  
ク  
同時ニ大隊長ノ位置ニ先行セシ聯隊長ヨリ  
左記要旨ノ聯隊命令ヲ受ク  
命令要旨

一 第三大隊ハ先ツ左ノ道路ヲ前進原平鎮南端ニ  
進出該地ヲ占領スヘシ  
二 第一大隊ハ右第一線トナリ第三大隊ニ連繫シ

ツツ展開

三 聯隊ハ東進ヲ 第一大隊方面ニ指向ス

六 大隊(第7中隊欠)ハ敵火ヲ冒シツツ最初水流ニ

沿ニ次イア原平鎮東方地區ニ迂回シ其ノ南  
方地區ニ進出直チニ原平鎮南端ヲ攻撃スヘ

四 第五中隊(MG一小隊附)左第一線トシ先ツ停

車場ニ進出該地ヲ占領セシメ第六中隊(示隊  
迄右第一線ニ軒家前端附近ヲ占領第六中隊  
小山小隊ラシテ南端道路十早路附近ヲ占領  
シ各、當面、敵情地形ヲ偵察セシムルト共

ニ残餘、二軒家附近ニ位置セシム

五 午前十一時第一線中隊ヨリ第一線ノ前方約  
二三百米、城外家屋上並一土壘ニハ銃眼ヲ  
設ケ畠地ニハ工事ヲ施シ秘密ノ陣地アリテ  
我ヲ猛射シ丹候ノ出入ラヌラ許サズトノ報

依ツテ大隊長ハ機関銃主力ヲニ軒梁附近ニ  
大隊砲小隊ヲ後方高梁畠ニ各々陣地占領ヲ  
命シ當面ノ敵重火器ニ對シ射撃ヲ開始セシム

\*第一線部隊ノ攻撃ヲ援助セシム

然レ共第六中隊ニ軒梁前方ヲ占領スルヤ其  
ノ前方土壁上並ニ掩護陣地ヨリ小銃及重火  
器ノ猛射ヲ受ケ忽チニシテ數名ノ死傷者ヲ  
出セリ此ノ時第五中隊正面ニアリテハ戰闘  
意ノ如ク進展シ年前十時頃停車場ヲ占領セシ  
モ其ノ北側倉庫ニハ敵約百五十頑強ニ抵抗セルモ同中隊ハ獨力之ヲ力攻シ午後一時

頃又ヲ占領セリ

午後一時聯隊長ヨリ左記要旨命令ヲ更ク

要旨命令

十一月四日午後零時三十分  
於原半鏡東方

猪鹿倉大佐

一 敵ハ圍壁若クハ城壁ニ依リ依然頑強ニ抵抗シ  
アルヲ以テ各大隊ニ於テハ觸後ニ攻撃ニ於テ  
左記ノ顧慮ヲ要ス

左記

(1) 金銀ノ關係上歩砲ニ協同ヲ必要トスルモ自  
下其ノ希望ヲ充スコト能ハズ

(2) 依ツテ歩兵ハ獨力自力ニ依リ其ノ目的ヲ達  
成セサル可カラス

文力爲ニハ大隊砲重機關銃及擲彈筒等ヲ同  
時ニ其ノ火力ヲ集結シ一局部宛之ヲ奪取ニ  
急々サル可カラス

右ノ要旨命令ニ基キ各大隊ニ在リテハ極力  
當方面ノ敵ヲ突破スルコトニ努ムヘシ

ノ午後二時三十分聯隊豫備隊タリシ第七中隊  
其ノ任務ヲ終リ大隊ニ復歸セシメラレ大隊  
ノ豫備隊トナル

此、間敵ハ連續的ニ我ニ對シ猛射ヲ浴セ敵  
砲兵モ盛シニ我ヲ砲擊ス爲ニ午後五時迄ニ  
死傷十六名ニ達セリ

8、朝來友軍飛行機時々飛來シ原平鎮ノ敵ニ對  
シ爆撃及機上射擊ヲ實施ス

9、午後四時聯隊長ヨリ左記電語要旨命令ヲ受

命令要旨

「兵團ハ明拂曉ヲ期シ全力ヲ原平鎮北方ニ集中  
シ重兵ヲ原平鎮西北角ニ指向シ該地ヲ攻畧セ  
ントス」

「第一線大隊ハ本日薄暮ニ至シ現在ノ線ヲ撤

10. シ

原平鎮北方旧道小流、線ニ集結スヘシ  
大隊長ハ別紙命令附錄第二ヲ下達シ午後七  
時三十分現在、線ヲ撤シ原平鎮西北方千米  
小流、線ニ向フ前進ヲ準備ス

11. 大隊ハ午後九時第五中隊(MG一小隊附)ヲ驛並ニ  
倉庫ニ残置同地ヲ砲堡セシメ兵團爾後ノ戰  
鬪據点トナラシメ主力ヲ以テ原平鎮北方地  
点集結ノ焉前進ヲ開始ス

12.

十月五日午前一時三十分大隊主力小流、地  
点ニ集結ヲ終リ同時聯隊長ヨリ左記要旨ノ  
命令ヲ受ク

命令要旨

高作命甲第四ニ歸

3.1

0971

左翼隊命令

於十月六日午前七時三十分  
原平鎮西北方水無河

一、敵ハ依然頑強ニ抵抗シアリ

二、篠原支隊ハ依然當面ノ敵ヲ攻撃シ續テ城内ノ

敵ニ對シ攻撃ヲ續行ス

三、大泉支隊ハ本六日原平鎮附近ニ到着スル筈

四、當部隊ハ左翼隊トナリ先ツ無名部落ノ敵ヲ擊破シタル後態勢ヲ盤ヒ續テ内城ノ敵ヲ攻撃セシトス内城攻撃ニ當リテハ重点ヲ植田部隊方

面ニ指向ス

五、板倉部隊(一小隊欠)ハ成可ヲ速カニ當面ノ敵ヲ擊破シタル後隊伍ヲ整ヒ續テ右第一線トナリ内

城ノ敵ヲ攻撃スヘシ

六、無名部落占領後ハ歩兵一中隊ヲ聯隊兼備隊タ

ラシムヘシ

七、植田部隊第五中隊(欠)ハ成可ヲ速ニ無名部落ノ敵

ヲ撃破シタル後隊伍ヲ整へ左第一線トナリ續  
テ内城、敵ヲ攻撃スヘシ

五、内城攻撃開始ノ時機及両隊戦闘地域、境界ハ

別命ス

六、獨立山砲兵一中隊(示隊乞ハ子、隸下ニ屬セラ  
ル同中隊ハ先ツ現在地附近ニ於テ主トシテ第  
一線大隊ニ對スル側防火器ヲ制圧シタル後其  
主火力ヲ内城西北角附近ニ指向シ第一線部  
隊、攻撃ニ協力久ヘシ本拂曉ニ於ケル射撃開  
始ノ時機ハ別命ス

七、第五中隊、本拂曉以後ノ戰闘ニ關シテハ別命

八、豫備隊ハ依然河原附近ニ位置シ拂曉以後内城  
攻撃ニ際シテハ植田部隊ノ後方ニ在リテ前進  
スヘシ

九、予ハ現在地ニ在リ拂曉以後砲兵陣地ニ到リ後  
捕城攻撃ニ方リテハ植田部隊ノ後方ニ在リテ  
前進ス

左翼隊長

猪鹿倉大佐

下達法 筆記セルモノヲ交付

13. 十月五日午前三時大隊ハ主力ヲ以テ前記命  
令ニ基キ當面ノ敵陣地ニ對スル攻撃準備ノ  
夕メ第六中隊右第一線第七中隊左第一線機  
關銃中隊主力ハ西第一線中隊ノ中間大隊砲  
小隊ハ本前位置ニ各々陣地占領ヲ命シ當面  
ノ敵情地形ヲ偵察セシム

14. 午前七時三十分小山將校舟候及第七中隊小  
林伍長舟候ヨリ別紙附錄第三要圖ノ報告ヲ  
受ク

15. 午前八時大隊ハ砲兵一支援射撃ノ下ニ前進

是午前九時敵前五百米、地点ニ進出セシモ  
敵一銃砲彈ハ猛烈ニ飛來ス又前面ノ地形ハ  
據ルヘキ地物ナク前進極メテ困難ナリ  
午後三時三十分大隊長ハ第七中隊(MG一小隊ヲ屬)  
ラシテ旧道方面、敵ニ對セシメ爾余ノ主力  
ヲ以テ白蟹ノ家附近、敵陣地ヲ奪取ス可リ  
要圖、如ク更ニ攻撃ヲ續行ス午後四時三十分  
分第六中隊ハ敵陣地ノ一部ヲ奪取セルモ敵  
彈猛烈、爲前進意ノ如クナラス依ツテ攻撃  
部隊ハ各個掩體ヲ構築シツツ遂時敵陣地ニ  
肉迫セリ

第六中隊(MG一小隊ヲ屬)ハ敵前百二三十米ニ近接ス  
ルヤ此一時各方面ヨリスル敵ノ猛射ニ依リス  
小山少尉以下三十數名、戰死傷ヲ生ス此ニ  
於テ薄暮ニ乘シ第七中隊(MG一小隊ヲ屬)ヲ大隊

17. 本部後方ニ招致シ夜間攻撃ヲ準備セシム  
戦傷入院加療中、態倉少尉午後六時本部位  
置ニ到着ス

18. 右大隊方面ハ戰闘混沌トシテ意ノ如クナラ  
サルヲ自擣ス

19. 各隊へ遂時工事ヲ増援シ又戦死傷者ノ收容  
ニ努メシモ敵彈繁ク第六中隊正面ハ收容極  
メテ困難ナル状態ニテ夜ヲ撤ス

20. 午後八時並ニ十月六日午前二時、二回ニ亘  
リ前面無名部落攻撃ノ聯隊命令ニ接ス  
此處ニ於テ大隊長ハ十月六日黎明前々面無  
名部落ヲ攻撃スヘキ決心ノ下ニ大隊命令別  
紙附錄第五ヲ下達ス

夜襲理由

不我砲兵力微弱敵陣地堅固且部落周圍、樹木

ノ偽所望ノ如ク砲火ノ威力ヲ期待シ得ス  
口敵陣地堅固且偽裝掩蔽巧ニシテ之ヲ空次番  
ヲ以テ制壓シツツ前進スルモ効果少ク依テ  
夜間攻撃ヲ可トス

21.  
十月六日午前五時別紙要圖附錄第六ニ示ス  
態勢ヲ以テMG主力及大隊砲小隊ヲシテ該地  
ニ位置セシメ敵重火器ノ制壓・伍セシムル  
ト共ニ第一線中隊ノ攻撃ヲ援助セシム  
前進地區ハ高梁ヲ膝高下ニ折リ曲ケ障礙物  
タラシメアルヲ以テ前進極メテ困難ナルノ  
ナラス園壁銳眼ヨリスル敵ノ射擊猛烈ヲ  
極メ前進幾何モナク大隊副官遠家中尉大隊  
書記小野塚軍曹先ツ傷キ死傷者續出セリ第  
六中隊敵陣地前約三十米ニ達スル頃第七中  
隊ヲ左ニ増加シ大隊本部ハ其ノ中間ヲ前進

中ナリ

茲ニ於テ大隊長ハ悲壯ナル次意ヲ以テ果然  
突撃ヲ決行セリ然ルニ敵ノ一部ハ圍壁下ニ  
設備セテレタル掩蓋銃眼ニ據リ近キハ手擣  
彈遠キハ銃眼射擊ニ依ル頑強ナル抵抗ヲナ  
シ大隊長植田少佐第六中隊長石原大尉以下  
攻撃部隊ノ三分ノ二ハ勇戦奮闘實ニ壯烈鬼  
神ラモ泣カシムルノ名譽ノ戰死ヲ遂クル  
至レリ

以上ノ状況ヲ傳令、報告ニ依リ知リタル清  
大尉ハ先ツ部隊ヲ整理シ天明後更ニ攻撃ヲ  
續行スルニ決シ聯隊長ニ前面ノ状況ヲ報告  
スルト共ニ第一線中隊ヲシテ現位置ニ工事  
ヲナサシメ患者ノ收容後送ニ努ムルニ歟  
繁ク作業容易ナラス砲兵ハ天明ト共ニ射撃

テ開始セルモ樹木ノタメ豫期ノ効果ヲ收ム

ルヲ得ス

12. 午前十時爾後ノ攻撃ニ關スル聯隊命令ヲ受  
ケ大隊命令別紙附錄第六ヲ下達ス

23. 砲兵ノ集中火ハ前記、如ク意ノ如クナラサ  
ルヲ以テ午前十時ノ攻撃前進ハ午前十時三  
十分トナリ更ニ午前十一時三十分ニ延期セ  
ラル

午前十時二十五分ヨリ全砲火ノ集中射撃  
ヲ五分間實施ト共ニMG火IA火ノ援助ノ下ニ  
自壁、象及其ノ東方陣地ニ突入ス時ニ午前  
十一時五十分過キナリキ  
此ノ日友軍飛行機ハ盛シニ飛來シ我ニ協力  
爆撃セリ

敵ヘ我勇敢ナル攻撃ニ依リ遂次東北方ニ後

40

0979

退セシモ依然禍強ニ抵抗ヲナシ死傷者續出

ス

大隊長代理瀆大尉ハ第六中隊ヲ新タニ豫備  
隊トナシ第七中隊正面ヨリ遂次戦火擴張ヲ  
許ケリ此一時大隊長代理瀆大尉一指揮シ得  
ル兵力ハ僅カニ數十名ノ小數ナリキ

24.

午後二時漸ク西北隅部落ノ一角ヲ占領シ續  
ア城外部落ノ攻撃ヲ實施ス

25.

正午第五中隊(MG小隊)ハ聯隊命令ニ依リ復歸

ス

第五中隊(MG小隊)ヲ先頭掃蕩隊トナシ依然西  
方部落ノ掃蕩ヲ實施シ城内北門ニ百米迄前  
進ス時=午後七時全ク暗黒トナレリ  
本夕刻迄=於ケル戦死傷者次ノ始シ

26.

戦死  
大隊長 植田少佐

戰死

第六中隊長

石原大尉

午後六時三十分聯隊攻擊命令ヲ受領シ大隊  
命令別紙附錄第七ヲ下達シ命令ニ基ク態勢  
ノ下ニ夜ヲ撤ス

十月七日午前十時三十分大隊命令別紙附錄  
第八ニ依リ部落内ノ掃蕩ヲ實施爾後ニ於ケ  
ル城内攻撃ヲ準備ス

十月八日内城攻撃ヲ準備スルト共ニ夜ヲ撤  
ス

29. 十月九日正午各隊長ヲ集メ原平鎮停車場東  
側高地ニ於テ聯隊長ヨリ爾後ノ攻撃ニ關ス  
ル意圖ヲ下達サレ同午後四時聯隊城内攻撃  
命令ヲ下達セラル  
大隊長ハ各隊長ト共ニ停車場東側ニ至リ現  
地ニ付キ爾後ノ攻撃意圖ヲ下達シ別紙命令

0981

附錄第九ヲ下達ス

30.

十月十日午前三時、大隊ハ第五中隊(MG不隊)附  
ラシテ現在地確保主力ヲ以テ本拂曉城内攻  
撃準備、爲第六中隊ヲ尖兵トシ原平鎮西南

側ニ向ヒ前進ヲ開始ス

31.

午前四時所命ノ地點ニ到着、第七中隊第一  
線(MG不隊)附MG主力本部位置附近大隊砲小隊ニ  
軒家附近ニ陳地ヲ占領第六中隊ヘ豫備隊下

シテ右後方ニ位置セシム

32.

概々午前八時頃ヨリ各砲火一齊ニ火蓋ヲ切  
ル大隊ハ午前八時三十分砲兵ノ攻撃準備射  
撃ニ膚接シ戦車ノ協力ト相俟シテ原平鎮西

南角ニ向ヒ攻撃前進ヲ開始セリ

敵城内部落城壁ヨリ時折小銃弾ノ射撃ヲ受  
クルハミナリ年前九時二十五分ヨリ五分間

43

0982

砲兵、突撃支援射撃開始セラルル、ヤ午前十一時三十分大隊ハ一意攻撃ヲ續行シ城内部落東南角ヲ完然ニ占領ス

午後二時聯隊長ヨリ第二大隊ハ第一大隊ト協力當面、敵ヲ攻撃スヘシトノ要旨命令ヲ受ケ先ツ第六中隊(MG不隊屬ス)第一線ニMG主力大隊砲小隊ヲ東南角附近ニ位置セシメ大隊主力、攻撃ヲ援助セシム

午後七時城内ニ敵ハ依然頑強ニ抵抗ヲ續行ス

右翼隊ハ現在ノ態勢ヲ以テ夜ヲ撤シ明拂曉ノ攻撃ヲ準備スルニ決シ右大隊ハ本部落、東南側附近ヲ確保スヘシ、聯隊命令ヲ受領シ爾後大隊ハ別紙命令附錄第若ニ依ル態勢ヲ以テ敵ト相峙シツツ夜ヲ撤ス

34

十月十一日午前十一時爾後ニ於ケル聯隊攻  
撃命令ヲ受領シ大隊ヘ別紙命令附錄第十一  
ヲ下達シ砲兵ノ突撃支援射撃ト戰車ノ協力  
ト相俟ツテ遂次攻撃ヲ開始セリ時ニ午後五  
時二十分突如敵ハ原平鎮城内東北角ヨリ東  
北方ニ向ヒ退却ヲ開始スリ

大隊ハ火力ヲ立ニ指向シ砲兵ノ射撃終了  
ト共ニ主力ヲ以テ追撃ヲ開始セリ

午後六時三十分電話ニテ大隊ハ追撃ヲ中止  
シ原平鎮南門附近ニ集結スヘシトノ聯隊命  
令ニ接シ午後七時三十分大隊ヘ態勢ヲ整理  
シ該地ニ集結終リ爾後ノ行動ヲ準備ス

十月十二日午前十時頃敵機三機飛來シ我ニ  
爆擊及機上射撃ヲ實施セルモ我ニ損害ナシ  
正午高作命甲第五ヲ號一基キ原平鎮出發永

15

0984

興村ニ至ル

四戰鬪ノ成果

一 原平鎮ハ同蒲鐵道ノ終点ニシテ太原ヨリ代  
縣 | 大營鎮方面及寧武方面ニ通スル道路  
' 分岐点ニ位シ事變發生以來平緩及內蒙方  
面ニ對スル敵ノ戰畧上要點トモ稱シ得ヘシ  
サレハ敵ハ全滅ヲ賭シテ之ヲ死守セリト謂  
ヒ得可ク之カ攻譽ハ敵ニ與ヘタル有形無形  
上影響實ニ大ニシテ又忻口鎮附近ノ堅固  
ナル陣地前進據点ヲ破壊シ其ノ攻擊ノ端ヲ  
開キ効果著シク大ナリ

二 第一日ノ戰鬪ニ於テ大隊ハ企圖ヲ秘匿シ原  
平鎮東方地區ヲ迂回シ全ク敵ノ退路ヲ遮断  
シ不意ニ南方ヨリ北方ニ向ヒ攻撃セシ結果  
敵ハ周章措ク能ハ久第五中隊正副ニ於テ此

機ニ乘シ停車場及倉庫ヲ占領シ得タリ  
該停車場及倉庫ノ占領ハ原平鎮城外支撐点  
ヲ裏失セシメタルノミナラス補給路ヲ遮断  
シ原平鎮ノ敵ヲシテ全ク孤立ニ陥入レ我騎  
後ノ戰闘給養ニ至大ナル便益ヲ得タリ特ニ  
第二長城線攻畧後追擊ニ泛ク追擊ヲ以テシ  
給養全ク途絶セシ折柄友軍ニ與ヘタル有形  
無形上ノ影響至大ナリ

三  
五日ノ攻撃及六日ノ夜間攻撃ニ於テ敵線ノ  
一部ヲ奪取シ得タルニ過キサルモ大隊ノ全  
滅フ賭シテ擣先セル犠牲的攻撃ヘ一ハ敵陣  
地ノ状況ヲ暴露シ一ハ友軍ノ志氣ヲ鼓舞シ  
敵ニ無言ノ威壓ヲ加ヘ爾後一戰闘指導ヲ極  
メテ有利ニセリ

五戰闘後ニ於ケル彼我ノ行動

六 十月四日夜大隊ハ翌五日ヨリノ攻撃ノタメ

北方ニ轉出セシ際敵ノ一部ハ南方ニ退却セ  
シ微候アリ爾後十月十一日ニ至ル間攻撃續  
行中沿ント退却ノ模様ナク同日午後五時三  
十分頃部落東北側ヨリ苦干名ノ敗殘兵ノ逃  
走セル外之ヲ殲滅スルヲ得タリ

原平鎮攻畧ノ間友軍ノ堤支隊及板垣兵團、  
三浦旅團ハ南下忻口鎮附近一部ノ敵ニ對シ  
攻撃ヲ開始セリ大隊ハ大隊長以下數名、死  
傷者ヲ出セシモ志氣益々旺盛十二日ハ聯隊  
主力ト共ニ永興村ニ至リ忻口鎮附近ノ攻撃  
ヲ開始セリ

六 参考トナルヘキ事項

「敵ハ土壁ニ三段ノ銳眼ヲ穿テ又土壁下ニ壕  
ヲ掘リ其ノ前方ニ進出シテ我ヲ射撃セリ最

初此ノ情況ヲ知ラサリシ爲友軍ノ射彈、多クハ明瞭ナル上方銳眼ニ指向セラレ我ハ敵ヲ制壓シ得タリト断シ前進スルヤ下方及土壁前ノ壕ヨリ狙擊セラレ多數ノ損傷ヲ生セリ

二 敵ハ防空孔ヲ構築シ土壁ヲ利用シテ堅固ナル工事ヲナセリ而シテ爆擊、砲擊ノ間ハ巧ミニ之ヲ利用シテ棲息シ友軍歩兵カ前進セントスルヤ猛射ヲ開始スルヲ通常トス  
爆擊砲擊ノ効果ヲ過大視スルハ絶對ニ不可ニシテ歩兵ハ只制壓ノ瞬時ヲ利用シ得ルノミナリキ

三 部落周圍ノ樹木ヘ有軍ノ射擊ヲ妨害シ時ニハ過早破裂ヲ生シ友軍ニ危害ヲ及木セリ注意ヲ要ス

四

砲兵、観測者ハ少クモ大隊長附近ニ近出ス  
ルニ兆ラサレハ其ノ成果肯綮ニ當ラス時ニ  
ハ友軍、既ニ占領シアル地上ニ向ヒ我砲火  
ノ指向セラレタルヲ目擊ス  
六、堡ラ有スル敵ヲ攻撃スルニハ之カ超越  
枝料ヲ携行セシムルヲ必要トス

五、

50  
0989

植作命甲第六五號

第二大隊命令

十一月四日午前二時三十分  
於武彦村部隊本部

一、敵情及有軍ノ情況聯隊命令ニ同シ

二、大隊（今後）ハ左縱隊前衛トナリ原平鎮ニ向ヒ

前進ス

三、前衛タル諸隊ハ左、如ク武彦村南端ヲ先頭ト  
シ午前五時三十分迄ニ集合スヘシ

記左

156  
300m

山66(5)  
MG IA  
魚雷

四、小山少尉ハ部下一分隊ヲ率ヒ將校舟候トナリ  
午前四時現在地出發成可ク速ニ本道方面原平  
鎮附近ノ敵情地形ヲ偵察スヘシ  
第一次報告ハ遅クモ主力出發迄ニ報告スヘシ  
五、爾餘ノ諸隊ハ聯隊命令ニ基キ集合スヘシ

51

0990

六 各隊ハ地方物資ヲ利用シ本夕食ノ分ヲ携行ス

七 予ハ午後五時二十分武彦村南端ニ在リ

部隊長 植田少佐

下達法 口達筆記

50

0991

權你命甲第六大隊

第二大隊命令

於原平鎮南方本部  
十月四日午後四時三十分

一、兵團當面、敵ハ依然執拗ナル抵抗ヲ試ミツツアリ

兵團ハ全力ヲ原平鎮北方ニ集中シ明拂曉ヲ期シ東点ヲ西北角ニ指向シ原平鎮ノ敵ヲ攻畧セントス

二、第二大隊ハ本四日薄暮ニ乗シ現在線ヲ撤シ原平鎮停車場北方倉庫ニ集結明拂曉攻擊準備、焉原平鎮北方約五百米、旧道上ヲ前進ス各隊ハソレソレ午後七時三十分迄ニ戰死傷者ヲ收容ノ上集合地ニ集合スヘシ

三、奈良橋軍曹ハ兵一名ヲ伴ヒ速力ニ大隊内各隊ノ有スル駄馬ヲ大隊集合地ニ誘導スヘシ

四  
予  
午後七時三十分大隊集合地ニ至ル

部隊長 植田少佐

下達法 口達筆記

0993

植作命甲第大七號

第二 大隊命令

於原平野西北方  
十月六日午前二時四十分

一 敵ハ依然頑強ニ抵抗シツツアルモ我兵團ハ一部ヲ占領シ更ニ戰鬪進捲シツツアリ

兵團ハ依然當面ノ敵ヲ攻擊シ續テ明拂曉ヲ期シ原平鎮，敵ニ對シ攻擊ヲ準備ス

左翼隊ハ依然當面ノ敵ヲ攻擊シ續テ明拂曉原平鎮ノ敵ニ向ヒ攻擊ヲ準備セントス

二 大隊ハ本黎明前ニ原平鎮西北角部落ニ突入シ該地附近ヲ占領シ爾後ニ於ケル主陣地攻擊ヲ準備セントス

三 第六中隊(二六欠)ハ第一線攻擊部隊トナリ白壁ノ家北端ニ突入シ該地附近ヲ占領スヘシ

四 第七中隊ハ第二線攻擊部隊トナリ大隊本部ノ後方ヲ續行シ第六中隊突入ト共ニ其ノ西方ニ

超越前進シ東北端附近ヲ占領之カ焉午前五時  
迄ニ第六中隊後方ニ集結シ前進準備ヲ完了ス

五、機関銃中隊ハ一部ヲ第六中隊陣地附近ニ歩シ  
要スレハ突入部隊ニ協力シ得ル如ク準備スヘ

六、大隊本部ハ第六中隊後方直後ヲ前進ス

七、各部隊ハ不足彈薬ヲ奈良橋章曹ヨリ受領スヘシ  
八、爾餘ノ諸隊ハ待機部隊トナリ現在地附近ニ位  
置シ第一線攻撃部隊ニ協力後攻撃部隊該地附近  
近奪取ト共ニ進出シ得ルノ準備ニアルヘシ

九、本黎明攻撃ニ於ケル令言葉ハ越後一高田トス

又標識トシテ左腕ニ白布ヲ纏フヘシ

十、予ハ大隊本部ノ先頭ヲ前進ス

大隊長 植田少佐

下達狀 口達筆記

機作命令第六大八歸

第二 大隊命令

十月六日午前九時五十分  
於策平鎮西北角

「敵へ依然頑強ニ抵抗シツツアリ  
兵團ハ本日前十時ヲ期シ策平鎮外廊部落ニ  
對ミ重点ヲ其西西北角ニ指向シ突撃ヲ開始シ  
同部落ヲ奪取シ爾後ノ攻撃ヲ準備ス  
砲兵隊ハ午前九時五十五分ヨリ五分間突撃支  
援射撃ヲ實施スル第

二 大隊ハ左翼隊ノ左第一線トナリ重点ヲ白壁ノ  
家ニ指向シ此ノ附近ノ敵陣地ヲ奪取シ爾後ノ  
攻撃ヲ準備セントス  
第一大隊ハ右第一線トナリ大隊ニ連繫シ攻撃  
ノ筈ナリ

三 第六中隊ハ右第一線トナリ現社地ニ攻撃ヲ準  
備シ白壁ノ家ニ突入スヘシ

四、第七中隊ハ左第一線トナリ現在地ニ攻撃ヲ準備シ第六中隊ニ連撃シ白壁ノ家(含マス)以東ノ敵陣地ニ突入スヘシ

五、MGハ一部ヲ以テ左前方ノ敵ノ側防火器ヲ制圧主力ハ白壁ノ家附近ヲ制圧シ主トシテ第六中隊ノ戦闘ニ協力スヘシ

BIAハ現在地附近ニ位置シ左前方ノ敵側防火器ヲ制圧スヘシ

六、第五中隊主力ハ豫備隊速カニ大隊本部後方ニ到ルヘシ

七、予ハ第六中隊後方ニ在リ

下達法

第二大隊長代理、  
口達筆記

瀆大尉

0997

續作命甲第十六號

第二大队命令

十月廿日午後六時四十分  
原平鎮北端

一、敵ハ依然頑強ニ抵抗シツツアリ

二、兵團ハ本日夜原平鎮及其ノ附近ニ宿營ス  
左翼隊ハ原平鎮東半部ヲ南方ニ掃蕩シ其ノ地  
域内ニ宿營ス

三、第二大队ハ原平鎮北方地區ヲ掃蕩シタル後該  
地ニ露營セントス

四、第一大队ハ大隊ニ連繫シ原平鎮東南地區ヲ掃  
蕩シ其ノ地ニ露營スル所

五、第五中隊(附一小隊ヲ屬ス)ハ概シテ東道ニ沿ヒ原平

鎮東北地區ニ掃蕩ニ伍スヘシ

六、鬼木曹長ハ一小隊ヲ指揮シ收容セル患者ノ護

衛ニ伍スヘシ

七、爾餘ノ諸隊ハ大隊副官ノ指示ニ依リ原平鎮東

59

0998

北地區

露營スヘシ

第六中隊ハ原平鎮北端東道上ニ第七中隊ハ原  
平鎮西北道路上ニ各々下士哨ヲ配置シ警戒ニ任  
セシムヘシ

六各隊ハ各宿舎毎ニ嚴重ニ警戒スル外概不三分

一ハ戰鬪準備ヲ整ヒアルヘシ

二本夕食ハ藤田主計少尉ヨリ受領スヘシ

八予ハ原平鎮東北端ニアリ

シ明七日午前十時三十分命令受領者ヲ差出スヘ

下達法

口達筆記

大隊長代理

瀬大尉

60

0999

植作命令第7号

第三大隊命令

新原平鎮東北端分

一敵ハ尚頑強ニ抵抗シツツアリ

兵團ハ本七日午前十時ヨリ更ニ原平鎮ノ掃蕩

ヲ實施シ又カ完成ヲ期ス

猪鹿倉部隊(山砲薦送)東掃蕩隊トナリ原平鎮東

部地區ノ掃蕩ヲ實施セントス

二大隊ハ原平鎮東北地區ノ掃蕩ヲ實施セントス

一大隊ハ原平鎮東南地區ノ掃蕩ヲ實施スル

著

後藤部隊トノ搜索地墳原平鎮中央道路

(猪鹿倉部隊含ム)一小河上ノ平地線ヲ速ヌル線

トシ第一大隊トノ掃蕩地域ノ境界ハ植作命令甲

第號ニ同シ

三第五中隊(小隊屬)ハ掃蕩隊トナリ大隊ノ掃蕩

地域

掃蕩大ヘン

四、爾餘へ大隊本部第7中隊機關銃中隊大隊砲小  
隊第六中隊ノ順序ニ第5中隊後方ヲ前進ス  
五、予ハ暫ク現在地ニ在リ以後大隊本部ト共ニ第  
五、中隊ノ後方ヲ續行X

下達法

大隊長代理  
口達筆記  
軍人瀟大尉

陸軍參謀監察第十一師

第三大隊命令

大正九年八月後四時五時  
原平鎮東北端

一 原平鎮城内ノ敵ハ依然頑強ニ抵抗シツツアリ  
兵團ハ明拂曉一部ヲ以テ南門東南側敵陣地ヲ  
奪取シ主力ヲ以テ南門西南方地區ヲ攻撃城内ヲ  
掃蕩ス

猪鹿倉部隊(五中隊二示隊及兩大隊、惟示隊ヲ卒<sup>3BAS</sup>ヲ附ス)ハ右  
翼隊トナリ明拂曉迄=原平鎮南側七百米=展  
開シ攻撃準備射擊ト共ニ敵陣地ニ突撃準備ヲ  
完アシ砲兵一集中射擊ニ連繫シ一擧ニ突破シ  
原平鎮東北方地區ニ進出ス

二 第二大隊(五中隊及<sup>MG</sup>二)ハ右翼隊、右第一線トナ  
リ一部ヲ以テ本篠暮原平鎮本道南方ニ展開シ  
現在地ヲ確保嗣後ハ現任務ヲ續行シ明十日午  
前六時三十分迄=原平鎮西南方ニ展開シ攻撃

ヲ準備セントス

第二大隊トノ戰闘地域ハ現地ニ於テ指示ス

三、第七中隊（一小少）ハ本薄暮現在地ヲ出發原平鎮本道南方ニ展開シ該地ヲ確保明拂曉大隊ノ展開

ヲ掩護スヘシ

大隊追及後<sup>ヲ</sup>配屬シ第一線トナル豫定ナリ

四、爾餘ノ諸隊ハ依然現任務ヲ續行明十日午前三時第六中隊、MIA、順序=猪鹿倉部隊本部前ヲ先頭ニ集合スヘシ  
大隊長ハ明十日午前一時五十分猪鹿倉部隊本部前ニ在リ

大隊長代理　瀧大尉

下達法 各隊長ヲ集メ口達シ後命令受領者

ラシテロ繭筆記セシム

植作命令第72號

第二 大隊命令

十月十日午後七時三十分  
於原平鎮部隊本部

一、城内、敵ハ依然頑強ニ抵抗シアリ

兵團ハ天明、アル限り掃蕩ヲ繼續シ爾後態勢ヲ整理シ明拂曉ノ攻撃ヲ準備ス

右翼隊ハ本夜現在、態勢ヲ以テ夜ヲ撤シ明拂

曉ノ掃蕩ヲ準備ス

二、大隊ハ現在、態勢ヲ以テ夜ヲ撤シ明拂曉ノ攻撃ヲ準備セントス

三、第六中隊第一線主トシテ東側方面ニMG主力ヲ以テ南方ニ大隊砲小隊ハ主トシテ南方ニ對シテ各々陣地ヲ占領シ明拂曉ノ攻撃ヲ準備スヘシ

四、第七中隊ハ豫備隊大隊本部ハ位置ニアルヘシ  
五、本夕食ハ携帶口糧ヲ使用スシ

六等ハ本部位置ニアリ

第二大隊長代理

瀬大尉

下達法

各隊長要旨ヲ傳達シタル後命令受領者

ラ集メ白達筆記セシム

1005

第二大隊命令

大正九年十月十一日午前零時零分

「殘敵ハ尚城内ニ蟠居シツツアリ」

右翼隊ハ先南門附近ヲ占領シ次テ東側城壁ヲ

占領シ後藤部隊、攻撃ニ協力ス

「大隊ハ右翼隊、右第一線トナリ東側城壁以東

ノ地區ヲ攻撃ヒントス

「左第一線

」ハ南門附近ヲ占領シタル後東側城壁ニ進出

スル苦

「第六中隊(機関銃小隊ヲ屬ス)ハ某ノ前端附近ニ展開シ左第一線大隊、攻撃ニ連繫シ東北城壁以東

ノ敵ヲ攻撃スヘシ

四、機関銃中隊ハ某ノ前端附近ニ陣地ヲ占領シ東側臺上附近ヲ制壓シ第六中隊、攻撃ニ協力ス

五、大隊砲小隊ハ現在地附近ニ於テ第一大隊ノ南  
門攻撃ニ協力シタル後東側城壁附近ノ敵ヲ制  
壓スヘシ

六、第七中隊ハ豫備隊第六中隊ノ後方ヲ續行スヘシ

七、等ハ大隊本部ト共ニ第六中隊ノ後方ヲ續行ス

第二大隊長代理 濱 大尉

下達法 各隊長ヲ集メ傳達シタル後命  
令受領者ヲ集メ口達筆記セシム